

2.28国鉄労働者全国交流集会大成功!



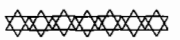
87. 3. 3
No. 2491

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二(22)七二〇七



国鉄労働者全国交流会議、動労総連合、動労千葉が主催する「2・28国鉄労働者全国交流会集」が二月二八日東京・第二電波ビル大ホールにおいて開催された。国鉄分割・民営化絶対反対、差別・選別・レッドパージ攻撃粉碎、国鉄決戦勝利を掲げた交流集会に国鉄労働者を先頭に五二〇名の労働者が結集する中で、新たな闘いへの決起を宣言し圧倒的大成功をかちとつた。



闘いはこれから決戦だ

広々とした会場が人で埋め尽くされ、熱気が充滿する中で国労千葉・飯島幸雄氏からの「国労、動労千葉、総連合の闘う部隊は四月一日を新たな闘いへの決起の時とせよ」との開会挨拶をもって集会は開始された。

まず主催者の動労総連合・水野委員長から「われわれは中曽根の戦後政治の総決算をかけた分割・民営化攻撃の中で、緒戦において勝利し、闘う陣形を維持したまま今日をむかえている。闘いはこれから決戦をむかえる。三月五日以降の配転をめぐる攻防戦に勝利し、清算事業団から仲間を奪いかえし、労働者・労働組合の敵に鉄道労連を解体・一掃の闘いが、われわれに課せられた使命だ。職場を去った多くの労働者、百名の自殺者、清算事業団へパージされた仲間の怒りをひとつに結集し、行動にかえてこの決戦を闘いぬこう」と力強く訴えられた。

続いて、来賓の全金本山・八重樫委員長、沖縄CTS石油基地反対同盟・大城議長代行、東京実行委・石田郁夫氏、全造船石川島分会・佐藤委員長、動労千葉弁護団・葉山岳夫氏がそれぞれ挨拶された後、メッセージ・激電が紹介された。

全職場から鉄道労連解体・一掃へ

本集会の基調が動労総連合・布施宇一書記長から提起された。「われわれは、二年近くの激烈な闘いを通して勝利した。その地平にふまえ、本日を期して新たな闘いに決起しよう。」

勝負はこれから勢の下で闘う陣形、組織を求めている。国鉄労働者の闘う大同団結、闘う労働運動をつくり

520名が大結集す!



だすのはわれわれだ。具体的には、すべての職場から鉄道労連の解体・一掃の闘いに起つこと、動労総連合、国労共闘の隊列を強化・拡大することと鮮明に提起された。

つづいて、国労共闘・吉野元久氏(国労東京)が特別報告にたち「①に、動労革マルⅡ鉄道労連を猛然たる決起で解体せよ。②に、北海道・九州七千五百名の清算事業団、百名のレッドパージは国鉄労働者のみへの攻撃ではない。三百万失業時代へ帝国主義の危機の中すべての矛盾と犠牲を労働者に転嫁する攻撃だ。これと対決せよ。③に3・29三里塚に国労共闘の大隊列を実現させる」四月一日を新たな闘いへの号砲とすることを明らかにした。

全国で抗議闘争にたつ

後半に入り、司会が動労水戸・福田弘之氏にバトンタッチされ、動労総連合からの報告として動労水戸・辻川委員長、動労高崎・関和副委員長が登壇し、闘う決意を明らかにした。そして、ひときわ大きな拍手の中を全国で闘いぬく国労共闘の仲間より闘いの報告と決意がなされた。九州・大阪・福知山・千葉・東京・仙台・新潟の仲間より「日共・協会の逃亡を許さず、国労共闘へ結集し、実力闘争で裏切りを粉碎せよ」と、とりわけ九州・門司地本からは2・16「通知」に対し、断固たる大衆的実力抗議闘争が各所で闘い取られた報告がなされた。

そして、会場を揺がす万雷の拍手の中を不当・不法にも差別・選別、レッドパージをうけた仲間を代表して国労秋田・小玉忠憲氏、動労千葉・林熊吉氏が「不退転の決意で闘う」との決意を表明した。

そして、動労千葉・中野委員長が「今日を起点にして、これからの本番」という立場で頑張ろう。流した血と汗を本当に結実させよう。そのために、より以上の団結を固め、多くの仲間の結集を実現させよう」と本集会を締めくくった。

国労八王子の若い仲間のインター、水野委員長の団結ガンバローをもって大成功のうちに終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!